

あなたも自治大学校と一緒に学んでみませんか？

総務省自治大学校 「法制基礎研修コース」 「卒業した先輩の声」*

自治体A（市町村）I. Sさん



約3週間もの期間、職場を離れることには不安もあったが、終わってみれば非常に貴重な経験であったと感じている。日々、業務を通じて触れている法制度等についても、豪華な講師陣の手厚い講義によって、深く学ぶことができた。また、全国の市町村の職員との交流も得難い経験であり、公私ともに充実した日々を過ごせた。

自治体B（市町村）W. Yさん



国と自治体職員は全く違う視点で制度設計や判断をする、ということが自分のなかで一番の学びだった。そして、違う視点こそが大切で、それぞれの立場で仕事をする必要があると感じた。正直、講義の内容がどこまで習得できたかは謎だが、それ以上に錚々たる講師陣から授業を受けられることは、他では得難いものがある。

自治体C（市町村）S. Mさん



この年齢になって今さら法制の勉強なんてと正直思っていたのですが、いざ受講してみると新しい発見ばかりで、学びを深めるのに遅すぎることはないと思いがちでした。今からでも、いくらでも成長できるチャンスがあるということを皆さんにお伝えしたいと思います。

*「法制基礎研修コース」の前身の「法制集中研修」の卒業生の声です。

令和8年度から「法制基礎研修コース」が スタートします。



「法制基礎研修コース」とは・・・

- 多様化する職員採用制度に対応し、法学初学者や学び直し（リスキング）を必要とする職員を主な対象としています。
- 行政法や地方自治法などの地方公共団体の職員に“必須”の法制度についてその基本を短期間で習得させ、業務執行の基盤となる法制能力の強化を図ります！
- 都道府県・市区町村等の幹部候補生職員を対象
- 研修期間：年2回（5月、12月）、宿泊研修約1ヶ月



皆様のご入校をお待ちしております！

